

# ひたちなか市議会だより

## 見守り続けて 70年 磯崎灯台

もくじ

No.119

令和4年7月25日

審議案件の紹介	2
一般質問	2
討論、請願・陳情ほか	6
特別委員会の設置ほか	7
市民のこえほか	8

# 5月臨時会・6月定例会で 次の案件が提出されました。

5月臨時会 ● 会期：5月23日

5月臨時会は、5月23日に開会し、1日間の会期で開催されました。

本臨時会では、市長より、専決処分報告4件（議会の承認が必要な案件のみ）、新型コロナウイルス感染症対策経費などを含む「令和4年度ひたなか市一般会計補正予算（第1号）」、「ひたなか市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」の議案ほか1件の合計3件が提出され、いずれも承認および可決しました。

6月定例会 ● 会期：6月2日～6月15日

## 今回の審議件数は

議案：6件（原案可決 6件）

請願：1件（6ページを参照）

計：7件

5月臨時会、6月定例会から3つを左に掲載します。

○案件名と結果の詳細はひたなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第50号〉 令和4年度ひたなか市一般会計補正予算（第1号）

### 『動画配信環境整備事業』

コロナ禍においてもライブ配信などにより、多くの方がイベントなどに参加できるようフックフラザしあわせフラザ文化会館 総合体育館のオンライン環境を整備します。

〈議案第53号〉 令和4年度ひたなか市一般会計補正予算（第2号）

### 『子育て世帯生活支援特別給付金』

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、食費などの物価高騰などに直面する低所得の子育て世帯に対し、生活支援を行うため特別給付金を支給します。

〈議案第54号〉 常磐線勝田・佐和間東石川線道路橋樑修繕工事委託事業に関する協定の締結について

大島陸橋の長寿命化を図る修繕事業において、常磐線横断部について東日本旅客鉄道株式会社に修繕工事を委託するため協定を締結します。

# 一 般 質 問

市の事業などについて、  
執行状況または将来の方針、  
課題などを議員が直接質問しました。

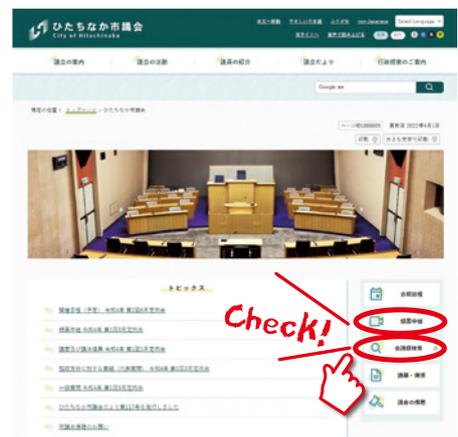


## 質問者



- ① 鈴木 道生 議員
- ② 大内 健寿 議員
- ③ 宇田 貴子 議員
- ④ 山田 恵子 議員
- ⑤ 海野 富男 議員
- ⑥ 樋之口英嗣 議員
- ⑦ 清水 立雄 議員
- ⑧ 大久保清美 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。



市議会ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>



### ● 市長の市政運営における政治理念

問 大谷市長は、市長選挙において「市民の声に、まっすぐに。」を掲げ、もっと市民に向き合う政治が必要だと訴えておられた。どのような地域社会の実現を目指すのか。市長の政治理念を伺う。

市長 就任当初から変わらず大切にしている政治理念は、「市民の声にまっすぐ向き合うこと」である。これからも市民の声や議会の意見を聞きながら、まちの課題に真摯に向き合うとともに、子育てのしやすさ、まちのにぎわい、快適な住環境、絆やつながりといったまちの価値を高め、市民に住んでいられることを誇りに思っていただけだよつなまちづくりを行っていく。

### ● 市政2期目への覚悟と決意を伺う

問 本年11月にて大谷市政1期目4年間の任期は満了となる。「新しいひたちなか市をつくる」道はまだ半ばであるかと思う。市政2期目への決意と覚悟を伺う。

市長 市民の安全安心な暮らしを維持し、「多くの方に選ばれ続けるまち」となるためには、本市の価値を向上させていかなければならない。その行政運営をリードすることが私の責務だと確信している。本市が「選ばれるまち」としてさらなる飛躍をするため、2期目に向けて次期市長選挙に臨む決意をし、引き続き、市政運営という大役を担えるよう、努力をしていく。



令和3年4月1日に開校した美乃浜学園

### ● 美乃浜学園小中一貫教育の課題を問う

問 本市初となる義務教育学校「美乃浜学園」が開校し、1年が過ぎた。統合のメリットもあるが、さまざまな課題もある。懸念されていた「砂塵」の影響や校庭貯留施設の弊害について伺う。

教育部長 砂塵は発生しているが、建物の気密性が高いことに加え、廊下や各教室に設置した吸気口フィルターにより、教室まで入ってくる砂塵は非常に少なく、授業に影響を及ぼすような状況ではない。また、校庭を貯留施設とすることで、校庭の雨水を排水するために時間を要するが、この校庭とは別に中庭に小学校用の校庭を設けているため、授業に影響は出ていない。

### ● 災害時における車中泊避難者の対応について

問 コロナウイルスの影響で車中泊避難者は激増すると予測され、大災害時における車中泊に対してどのような認識をもっているか。また、指定避難所の美乃浜学園は車中泊対応が可能なのか伺う。

市民生活部長 コロナ禍の避難時の車中泊は、不特定多数の人と接触を避けることができ、短時間であれば感染症対策に有効な避難方法の1つである。美乃浜学園の車での避難受け入れは、約150台分ある職員および来客駐車場に車を停めることができる。なお、校庭は貯留機能を有しているため、悪天候時には駐車場として使用できないので、避難者の分散誘導を図っていく。



### ● 給食費の保護者負担の軽減を

問 物価高騰の中、決められた給食費でのやりくりは非常に困難になっている。現状と対策について伺う。また、本市の給食費は県内4番目に高く、今後引き下げ、無償化に向けた検討についても伺う。

教育部長 本市の給食費は、平成26年度に小中学校とも200円の引き上げを行って以降、改定を行っていない。その一方で、食料費は昨今の物価高騰の影響により、上昇している。こうした状況の中、各小中学校は献立の見直しなどの工夫により対応しているところである。次年度以降の対応についても、今後の物価高騰の影響を注視し、適切な支援策について検討していく。

◀ 次ページに続く

③ 宇田 貴子 議員

### ● 学校給食にもっと地元産食材の使用を

問 現在学校給食への地元産野菜の利用割合は13%、市内産の玉米を使用した主食の米飯は週3回程度である。もっと地元の野菜の利用を増やし、米飯の回数も増やす必要があると考えるが、いかがか。

教育部長 学校給食における市内産野菜の使用については、本年度から、生産体制の現状や学校側の希望などについて相互理解を図り、課題の解決を目的とした意見交換会を開催している。今後も生産者や担当部局と連携を図りながら、学校給食への市内産野菜の活用に努めていく。また、米飯給食の回数については、献立のバランスや児童生徒の好みなども考慮しながら検討を重ねていく。



④ 山田 恵子 議員

### ● 学校給食での物価高騰対策について



学校給食調理の様子

問 新型コロナウイルスの長期化、ウクライナ危機により原材料価格が値上がりしている。学校給食での食料費の値上がりがいっそう懸念される中、学校給食における地方創生臨時交付金の活用状況を伺う。

教育部長 小麦価格の影響を受けて、学校給食の主食の購入先である茨城県学校給食会からは、パンの価格を値上げせざるを得ない状況との説明を受けている。限られた給食費の中で毎日の給食を実施するため、各学校では、献立の変更などのさまざまな工夫を行っている。引き続き、原材料費高騰の状況や社会情勢の変化を注視し、適切な支援策について、検討を重ねていく。

### ● 高齢者などへの情報格差解消について

問 誰もがデジタル社会の恩恵を受けられるよう、スマートフォンの操作などデジタル機器に不慣れた高齢者などを対象とした「スマホ活用講座」や「相談会」を開催し情報格差解消を図るべきと考えるが、いかがか。

福祉部長 本年度は、「高齢者大学」において、基本操作、電子申請、ネットトラブルなどについて学ぶ「スマートフォンに関する講座」を実施する。また、消費生活センターにおける「くらしの講座」では、「シニアのためのLINEの使い方講座」を実施するほか、市内の老人福祉センターの主催講座に組み入れるなど、高齢者が集う身近な場所や機会を活用した取り組みを進めていく。



⑤ 海野 富男 議員

### ● 「人・農地プラン」について

問 人と農地の問題を解決するため、これからの農業政策を導くための設計図である「人・農地プラン」の本市におけるこれまでの実績と今後の取り組みについて伺う。



### ● 教員不足の現状と対応について

問 教員不足は、教育活動に支障を来し教員の働き方改革に影響する。特に学級担任や教科担任の代役を務める教員（講師など）の配置は不可欠である。教員不足の解消方法など対応状況を伺う。

教育部長 教員不足の対応として、臨時的任用職員および非常勤講師の確保に向け、水戸教育事務所の講師登録簿を活用して探したり、退職教員などへ個別に声をかけたりして配置できるよう努めている。今後は、市のホームページに講師登録者の募集を掲載し、市内外の教員免許を取得している方が事前に講師などの登録をすることで教員の確保ができるようにしていきたい。

経済環境部長 毎年プランの更新を行っていたが、国から「人・農地プラン」の実質化【※】が求められたため、プランの見直しを開始し、地図化までの工程を完了した。今年度は、関係機関と連携し、地域に根ざした話し合いを進め、事業を推進していきたい。  
農業委員会会長 タブレットを活用し、「人・農地プラン」作成の基となる、より精度の高い目標地図の素案策定を行っていく。

用語解説  
【※】「人・農地プラン」の実質化  
アンケートを実施し、農業の現状を可視化するための地図を作成した後、話し合いにより中心経営体への農地の集約化など将来方針を作成すること。





### ● 少子化について

**問** 平成15年に少子化対策基本法が出され、重点課題が示されたが、思うような効果が見られない。少子化問題は、静かなる有事と言われているが、人口減少問題、少子化に対する市長の考え方を伺う。

**市長** 人口減少対策は、地方自治体も自ら考え、積極的に取り組んでいくべき課題である。日本全体で急激な人口の減少が予測される中、ライフステージに沿った総合的な対策を講じて出生率を高めていくことは喫緊の課題であり、引き続き、職・住・育が近接した持続可能なまちづくりを行うことで、人口減少と少子化の抑制が図られるよう、最大限の努力をしていく。

### ● ひたちなか海浜鉄道 湊線延伸について

**問** 湊線延伸は現在の湊線を廃線にしないための事業であるとされている。ならば、利益が出せるかが基本である。金のない金鉱を掘り始めるといった感じがしないでもないが、この計画の時代背景と経過を伺う。

**企画部長** 湊線はまちづくりや地域活性化などの観点から、将来を見据えて存続した。湊線延伸は観光の活性化や交流人口拡大のため、観光資源の回遊性を高める有効な手段として調査検討を始めた。平成25年度からルート案の検討などを行い、29年度には地域公共交通網形成計画に位置付けた。30年8月に湊線延伸基本計画を策定し、令和3年1月、事業認可を取得した。



延伸が検討されている海浜鉄道湊線



### ● 市民が担い手となる まちづくりについて

**問** 自治会や民生委員、高齢者クラブ、子ども会育成会、PTA、NPO、各種ボランティア団体など、さまざまな団体が活動している。これらを一堂に会したまちづくりの仕組みづくりを考えてみてはどうか。

**市長** 基本条例【※】制定から10年が経過したことから、「自立と協働のまちづくりシンポジウム」の開催を令和5年2月頃に予定している。このシンポジウムは、基本条例の理解を深める重要なものと捉えているので、この機会に、基本条例の趣旨を広く市民と共有し、市民、議会、行政の3者がそれぞれの役割分担のもと、自立と協働のまちづくりを着実に進めていきたい。

#### 用語解説

【※】基本条例  
平成22年4月に市民参画のもとに作成された、ひたちなか市の最高規範である「自立と協働のまちづくり基本条例」のこと。

### ● SDGs【※】を活用したまちづくりについて

**問** SDGsの目標達成に向けたシナリオについて伺う。それにはしっかりとした協働体制を作りあげることが最も重要と考えるが、市長の所見を伺う。

**企画部長** 総合計画に位置付けられた各施策を着実に推進し、個別計画においてもSDGsとの関連性を意識しながら策定や改定を進めていく。

**市長** 行政だけでなく市民や団体、企業が連携・協力することが重要だと認識している。従って、SDGsの理念についてさらなる認知度向上を図り、SDGsを活用しながら後期基本計画を推進し、自立と協働のまちづくりを進めていく。

#### 用語解説

【※】SDGs  
経済、社会、環境の3側面を統合的に捉えながら17の目標を設定し、2030年までに「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す国際目標のこと。



### ● 中学校部活動の 地域移行について

**問** 部活動改革に関する県教委の有識者会議が、部活動の運営を地域に移行する提言を出した。部活動を学校教育の一環と定める学習指導要領からの歴史的転換である。これについて市教委の見解を伺う。

**教育長** 長年、学校の課外活動として定着してきた部活動を地域移行にしていくためには、生徒や教職員・保護者にとって大きな変化を伴い、多くの課題があると認識している。そのためには、横断的な組織作成や、地域や行政の関係各部、関係団体が連携しながら解決していく必要がある。今後、国や県の動向を注視し、本市にあった地域移行ができるよう体制の構築に努めたい。

◀ 次ページに続く

## ● 屋内退避を原則とした避難計画

問 実効性のある避難計画を作るには住民の理解と協力が必須だが、わが子の被ばくを避けたい妊産婦、乳幼児・児童生徒の親が、段階的避難や屋内退避で被ばくを容認できるだろうか。市の見解を問う。

市民生活部長 一斉に避難を行った場合、交通渋滞により屋外にいる時間が長くなり、かえって放射線被ばくのリスクを高めてしまう。原子力災害時には、防護対策を正しく理解した上で、適切な避難行動をとる必要がある。そのため、本市においては、今年度、原子力災害対応ガイドブックを作成・配布し、屋内退避の趣旨や有効性について周知することとしている。



## 5月臨時会 討質 論疑

question & debate

5月臨時会の報告案件および議案について、採決に先立ち次のような質疑および討論が行われました。

### 報告案件に対する質疑

報告第7号 ひたちなか市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

質疑①…国保税の課税限度額が99万円から102万円に引き上げられる。改正の理由を問う。

答弁①…高所得者により多くの負担を求めることで、中間所得層へ配慮した国保税の設定とするためである。

質疑②…(①の続き) 課税限度額引き上げに伴う本市、国保被保険者の影響について問う。

答弁②…医療分の限度額が63万円から65万円へ引き上げとなる被保険者が約230人。後期高齢者支援金分の限度額が19万円から20万円へ引き上げとなる被保険者が約300人と想定している。

### 報告案件に対する討論

#### ● 反対

報告第7号 所得に対する国保税の負担率がすでに10%を超え、高すぎて払いたくても払えない世帯が令和3年度1500世帯を超えている現状を鑑みれば、被保険者間での支え合いはすでに限界を超えているため、国の責任でさらなる公費投入を行い、国保税の大幅な引き下げが不可欠である。以上、反対討論とする。

### 議案に対する討論

#### ● 反対

議案第51号 ひたちなか市職員給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について、コロナ禍で収入が減り、急激な物価高騰が起きている今、若者が本市を働く場として選び、長く働き続けるためにも、本市には給与の引き上げを含めた、さらなる処遇改善が必要である。以上、反対討論とする。

## 6月定例会 討 論 debate

6月定例会の議案および請願・陳情について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

### 議案に対する討論

#### ● 反対

議案第55号 あらたに生じた土地の確認についておよび議案第56号 字の区域の変更について 常陸那珂港をカーボンニュートラルポートとする事業が進められている。ゼロカーボンを目指すなら、石炭火発を廃止し、自然エネルギーを使った新たな産業に力を入れるべきであり、これ以上の港湾建設はやめるべきと訴える。以上、反対討論とする。

### 請願・陳情に対する討論

#### ● 賛成

請願第28号 「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律(土地利用規制法)の廃止を求める意見書提出」を求めることについて、思想・信条の自由、表現の自由など、個人の尊厳に関わる憲法上の権利、地方自治体の独立性・自主性などへの侵害行為がこの法律によって正当化される懸念がある。従って、本請願は採択すべきである。以上、賛成討論とする。

## 請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

### 不採択となったもの

- ▽「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律(土地利用規制法)の廃止を求める意見書提出」を求めることについて

## 人事

### ひたちなか市及びひたちなか・東海広域事務組合公平委員会委員の選任同意

ひたちなか市及びひたちなか・東海広域事務組合公平委員会委員に、安 隆之氏を選任することに同意しました。

# 特別委員会を設置しました

## 議員定数等調査検討特別委員会

地方分権の進展により、二元代表の一翼を担う議会の果たすべき役割が重要性を増してきています。

本委員会では、さらなる地方分権の進展に適切に対応していくため、自らの体制などを検討し、現状と課題の整理を行うとともに、議員定数の在り方や報酬など、「議員定数などに関すること」について調査・検討していきます。

## 行政監視機能に関する調査検討特別委員会

近年、さまざまな契約方式が採用されている中、契約の透明性を高め、契約事務の適正な執行に資する必要があります。

本委員会では、議会が契約の実態を把握できる仕組みとして、「条例による契約に係る議決事件などに関すること」について調査・検討を行うとともに、さらなる監視機能の充実強化のため、職員が公益通報先を第三者からなる外部組織とするなど、「公益通報に関すること」について調査・研究を進めていきます。



- |       |        |
|-------|--------|
| 委員長   | 弓削 仁   |
| 副委員長  | 深谷 寿一  |
| 委員    | 大久保 清美 |
| 薄井 宏安 |        |
| 雨澤 英正 |        |
| 樋口 英嗣 |        |
| 樋之口 浩 |        |
| 打越    |        |

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 井坂 章  |
| 副委員長  | 萩原 貴  |
| 委員    | 宇田 恵子 |
| 山田 祐二 |       |
| 北原 健司 |       |
| 清水 健寿 |       |
| 大内 健生 |       |
| 鈴木 道武 |       |
| 三瓶 道生 |       |
| 海野 富雄 |       |
| 清野 立  |       |
| 清水 猛  |       |
| 武藤    |       |

# 永年勤続表彰

全国市議会議長会から10年以上市議会議員の職にある者として、鈴木道生議員、大内聖仁議員、鈴木一成議員、大谷隆議員が表彰されました。

鈴木道生議員は総務生活委員長などを、大内聖仁議員は決算委員長などを、鈴木一成議員は議長のほか経済建設委員長などを、大谷隆議員は議長のほか経済建設委員



鈴木 道生



大谷 隆



鈴木 一成



大内 聖仁

長などを歴任されています。(議員名簿順)

## 閉会中の常任委員会活動

### 総務生活委員会

○4月27日  
本市のデジタル変革について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

○5月17日  
公共施設マネジメントについておよび契約、入札制度について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

### 文教福祉委員会

○4月19日  
通学路の安全対策について、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

○5月13日  
市内の埋蔵文化財について、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

### 経済建設委員会

○5月17日  
新上坪浄水場について、執行部から説明を受け、現地調査を行いました。



山形 由美子

去る6月12日逝去された山形由美子議員は、平成19年にひたちなか市議会議員に初当選され、引き続き4期、14年にわたり、市政の振興と発展にご尽力されました。ここに謹んで故人のご冥福をお祈りします。

## 山形由美子議員逝去

# 市民のこえ

hitachinaka

## ふたりのこのころ

八幡町

西野 美恵子さん

人情味あふれる地域のかたがたに愛され、励まされながら70数年続いた青果店を、3年前に閉店しました。つらい事も楽しい事もありましたが、あの時の感謝と感動は忘れられません。現在は、夫と一緒に少しでも地域の皆さまに恩返しをしたく、自治会の皆さまと共に活動しています。コロナが収束し、伝統ある八朔祭りや花火大会が開催される事を願っています。



ひたちなかの良さを  
いろいろな人に

馬渡

吉野 功さん



市内に居住して20年以上になります。が、少しずつ街も自然を保たれながら整備され、住みやすくなっていると思います。私はこの街が大好きで朝日を望める海や、田園風景に沈む夕日、鉄道や近代的な建物などを写真で残すことがあります。ひたちなかには、季節ごとにたくさんさんの魅力があり、市外や県外のかたがたにもぜひ、素晴らしいひたちなかの自然や文化、産業などを広く発信できたら良いと思います。

## 次回9月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/21	22	23	24 <small>講義・陳情締切の 正午まで</small>	25 <small>定例会告示 議会運営委員会</small>	26	27
28	29	30	31	9/1 <small>本会議 (開会)</small>	2	3
4	5 <small>(議案調査)</small>	6 <small>(議案調査)</small>	7 <small>(議案調査)</small>	8 <small>本会議 (一般質問)</small>	9 <small>本会議 (議案採決)</small>	10
11	12 <small>本会議 (予備日)</small>	13 <small>予算委員会</small>	14 <small>3常任委員会</small>	15 <small>決算委員会</small>	16 <small>決算委員会</small>	17
18	19	20 <small>決算委員会</small>	21 <small>決算委員会 (予備日)</small>	22 <small>決算委員会</small>	23	24
25	26 <small>(事務整理)</small>	27 <small>本会議 (閉会)</small>	28	29	30	10/1

## 議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(273-0111内線4211)

本会議の開始時間は、午前10時です。

(日程が変更になる場合もあります)

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、感染症対策などをお願いする場合があります。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>



編集  
手帳

議会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。長きにわたるコロナ禍において3度目の夏を迎えました。市議会では、情報発信の取り組みとして、本会議の録画映像をYouTubeにて配信しています。また、本会議の生配信に向けての準備も現在進めています。さらに、年に4回発行の市議会だよりも、市民の皆さまに分かりやすく議会の情報をお伝え出来るよう、議会広報委員会にて協議しています。今後も開かれた議会を目指し取り組んでいきます。……………(井坂 涼子 記)



再生紙と植物油インキを使用しています。